

2024年1月31日

組織改編及び職位新設の件

株式会社商船三井（社長：橋本 剛、本社：東京都港区）は2024年4月1日付で以下の組織改編及び職位新設を行いますのでお知らせします。

1. 組織改編について

(1) 社長室の設置

社長の直接の指示を受け、経営上の重要な決定に資する情報収集や分析をはじめとする社長業務を全面的に補佐する専任組織として「社長室」を新設します。

(2) 各本部の改編

各本部の構成を以下の通り改編します。下線部が今回の組織改編に伴う変更となり、個々の変更内容については後述の通りです。

2024年4月1日以降	
【技術・デジタル戦略本部】 <u>(新設) 技術・デジタル統括ユニット</u> DX共創ユニット 商船三井システムズ(株) 技術部 海洋技術部 スマート SHIPPING 推進部	
【ドライバルク営業本部】 ドライバルク事業戦略部 <table border="1"><tr><td><u>鉄鋼事業群：</u><ul style="list-style-type: none">• <u>第一ユニット（国内顧客向け事業担当）</u>• <u>第二ユニット（海外顧客向け事業担当）</u></td></tr></table> 商船三井ドライバルク(株)	<u>鉄鋼事業群：</u> <ul style="list-style-type: none">• <u>第一ユニット（国内顧客向け事業担当）</u>• <u>第二ユニット（海外顧客向け事業担当）</u>
<u>鉄鋼事業群：</u> <ul style="list-style-type: none">• <u>第一ユニット（国内顧客向け事業担当）</u>• <u>第二ユニット（海外顧客向け事業担当）</u>	
【エネルギー営業本部】 エネルギー営業戦略部 燃料GX事業部 <table border="1"><tr><td><u>カーボンソリューション事業群：</u><ul style="list-style-type: none">• <u>(新設) カーボンソリューション事業開発ユニット（CCUS事業・カーボンリサイクル事業・新エネルギー事業開発担当）</u>• <u>電力事業ユニット（電力燃料（除くLNG）輸送事業担当）</u></td></tr></table>	<u>カーボンソリューション事業群：</u> <ul style="list-style-type: none">• <u>(新設) カーボンソリューション事業開発ユニット（CCUS事業・カーボンリサイクル事業・新エネルギー事業開発担当）</u>• <u>電力事業ユニット（電力燃料（除くLNG）輸送事業担当）</u>
<u>カーボンソリューション事業群：</u> <ul style="list-style-type: none">• <u>(新設) カーボンソリューション事業開発ユニット（CCUS事業・カーボンリサイクル事業・新エネルギー事業開発担当）</u>• <u>電力事業ユニット（電力燃料（除くLNG）輸送事業担当）</u>	

<ul style="list-style-type: none"> • <u>タンカー事業第一ユニット（原油船・石油製品船事業担当）</u> • <u>タンカー事業第二ユニット（メタノール船・LPG船・アンモニア船事業担当）</u>
<p><u>風力・オフショア事業群：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>風力事業ユニット</u> • <u>オフショア事業ユニット（FPSO・CTV・サブシー支援船・研究船・ケーブル敷設船事業担当）</u>
<p><u>液化ガス事業群：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 第一ユニット（日本・東南アジア・南アジアLNG事業担当） • 第二ユニット（その他LNG事業担当） • 第三ユニット（北極海・FSRU・LNG発電船事業担当）
<p>MOL Chemical Tankers Pte. Ltd.</p>
<p>【ウェルビーイングライフ営業本部】 <u>ウェルビーイングライフ事業部</u> (株)商船三井さんふらわあ ダイビル(株) クルーズ事業革新プロジェクトユニット</p>

① 技術・デジタル戦略本部の改編

2023年11月1日付で新設した技術・デジタル戦略本部が、効果的かつ合理的に活動するための統括機能を有し、グループ経営戦略と連動した技術とデジタルの一体的な戦略などを立案・推進するための組織として「技術・デジタル統括ユニット」を新設します。

② ドライバルク営業本部の改編

ドライバルク営業本部のうち、鉄鋼原料船部を「鉄鋼事業群」のもと日本国内のお客様向け事業を担当する「第一ユニット」と海外のお客様向け事業を担当する「第二ユニット」に分割します。

各事業の機動力を高めるとともに、従来の鉄鋼原料輸送事業のさらなる進化と鉄鋼産業の変革を支える新規事業の創造を目指します。

③ エネルギー営業本部の改編

エネルギー営業本部のうち、タンカー・オフショア事業群と電力・風力エネルギー事業群を、「カーボンソリューション事業群」と「風力・オフショア事業群」に改編します。前者は4つのユニット、後者は2つのユニットで編成されます。

前者に新設する「カーボンソリューション事業開発ユニット」は、CCUS事業、カーボンリサイクル事業及び水素・アンモニア等新エネルギーに関する事業開発についての戦略立案・推進を一元的に主導します。

④ ウェルビーイングライフ営業本部の改編

ウェルビーイングライフ営業本部のうち、ウェルビーイングライフ事業統括部を「ウェルビーイングライフ事業部」に改称するとともに、フェリー・関連事業部を廃止し、従来同部が担ってきた機能をウェルビーイングライフ事業部に移管します。

(3) 国代表・地域代表の改編

当社グループは、海外にける事業ネットワークを構成する組織として、5つの地域組織（東アジア、東南アジア・大洋州、南アジア・中東、欧州・アフリカ、米州）を設置しています。更に重点戦略国・地域において、部門・グループ横断的な営業力の強化を目的として国代表・地域代表を設置していますが、一部改編により海外ネットワークを更に強化し地域戦略を推進します。

2024年4月1日以降	
東アジア、東南アジア・大洋州、南アジア・中東、欧州・アフリカ、米州	
執行役員（地域組織担当）	
コーポレート機能統括	営業統括
国代表・地域代表	
韓国、中国、台湾、香港、フィリピン、ベトナム、タイ、マレーシア、 インドネシア、ミャンマー、オーストラリア、ニュージーランド、 中央・東ヨーロッパ、西ヨーロッパ、北ヨーロッパ、トルコ・北アフリカ、 サブサハラ東部、サブサハラ南部、ロシア、メキシコ、ブラジル、チリ	

2. 職位新設及び呼称の変更について

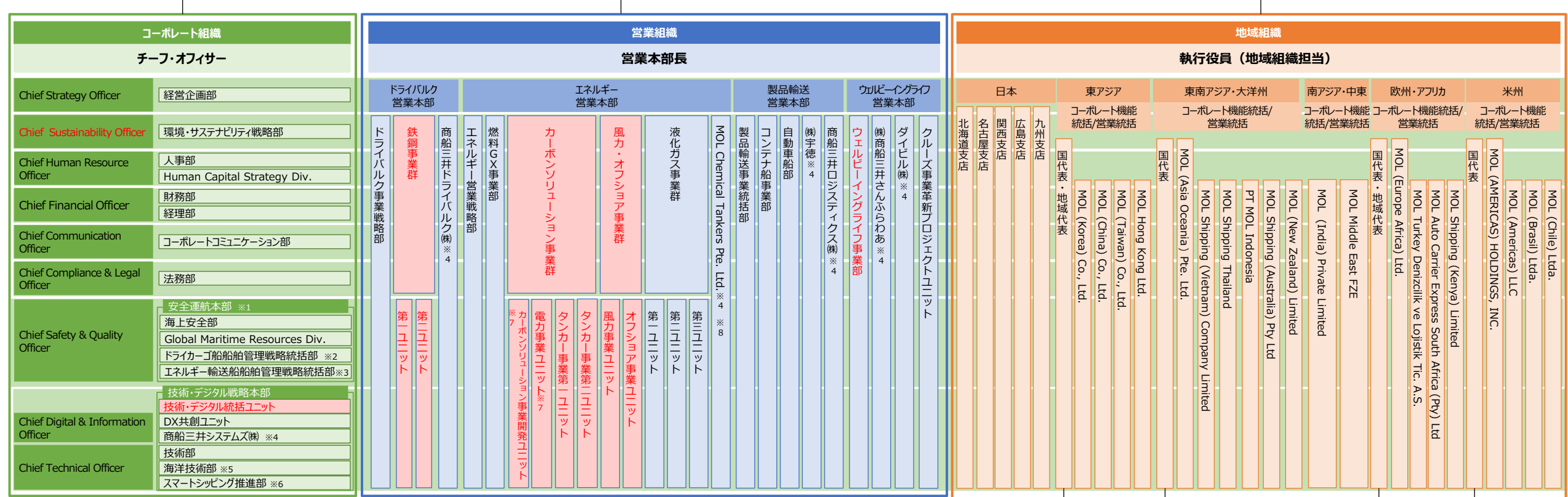
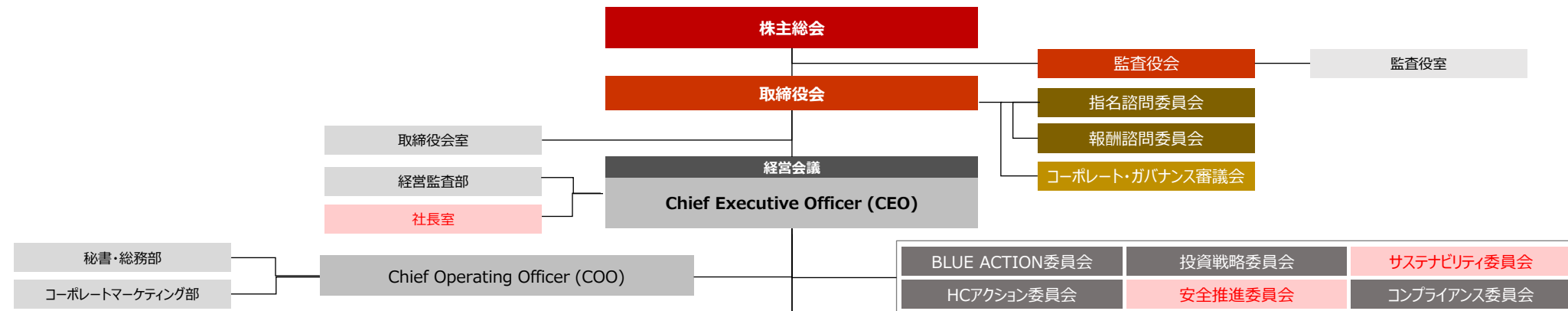
(1) チーフ・エンバイロメント・サステナビリティ・オフィサーの改称

チーフ・エンバイロメント・サステナビリティ・オフィサーを、「チーフ・サステナビリティ・オフィサー（Chief Sustainability Officer）」に改称します。

(2) エグゼクティブフェロー及びフェローの新設

社長から直接の委任を受けて専門性の高い特命事項を担当する「エグゼクティブフェロー」及び「フェロー」を本社職位に新設します。専門領域について深い知識と豊富な経験をもった人材がイニシアチブを発揮して経営への提言を行うことで、当社グループのイノベーションを強力に推進する体制とします。

以上



※1:安全運航本部は次の6つの部 (Division) と2つのグループ会社で構成される
 ①海上安全部、②Global Maritime Resources Div.、③ドライカーゴ船船舶管理戦略統括部、④エネルギー輸送船船舶管理戦略統括部、⑤海洋技術部、⑥スマートSHIPPING推進部、⑦エム・オー・エル・シップマネージメント(株)、⑧エム・オー・エル・エルエヌジー輸送(株)

※2:ドライカーゴ船船舶管理戦略統括部は安全運航本部、及び2つの営業本部 (ドライバルク営業本部、製品輸送営業本部) に属する

※3:エネルギー輸送船船舶管理戦略統括部は、エネルギー営業本部にも属する

※4:本社組織に属するグループ会社

※5:海洋技術部は安全運航本部、及びエネルギー営業本部にも属する

※6:スマートSHIPPING推進部は安全運航本部にも属する

※7:カーボンリユース事業開発ユニット、電力事業ユニットはドライバルク営業本部にも属する

※8:MOL Chemical Tankers Pte. Ltd.は製品輸送営業本部にも属する